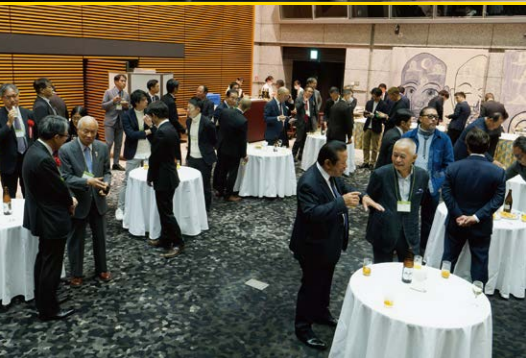


# Mokutaidikeyo

# 木耐協

# マンスリーレポート

2024.2  
vol.  
302



特集

## 第26回 木耐協 全国大会

### 誌上報告レポート

今号の表紙

第26回木耐協全国大会を、1月11日(木)に東京国際フォーラムで開催しました。満席となった熱気溢れる当日の様子を特集記事として紹介します。



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合





### 開会挨拶 木耐協 理事長 小野秀男

「気持ちのこもった黙とうをありがとうございました。能登半島地震の発生があと3日でも前後していれば、帰省中に被害に遭う人も少なく、被害状況もまた違ったものになっていたのではないのでしょうか。毎年行っている書き初めで、今年は『感奮興起』と書きました。今年は感じて、奮い立ち行動を起こして共に耐震社会の構築に邁進して参りましょう」と、挨拶しました。

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
2024年度 第26回 木耐協 全国大会

かん ぶん こう き  
感 奮 興 起



### 2024年1月11日(木) 東京国際フォーラムで開催

昨年から対面開催を再開した木耐協全国大会。その第26回大会を開催し、当日は全国から約230人の方にご来場いただきました。



# 特集 第26回 木耐協 全国大会 誌上報告レポート

### 永年功労者表彰式

20年継続加盟いただいた37社の組合員を対象とした永年功労賞の授与式も行いました！

#### <対象組合員>

- 相羽建設 / 石川組 / 伊里山建業 / 角栄ホームズ / 木族の家 / 空設計 / グートンライフ / K&K建築工芸 / 近藤工務店 / サイトウ建築事務所 / 澤村 / 三光ホーム / サンダイ / サンプロ / 住環境工房らんぱん / スタッフ / 創造工舎 / エデザイン / 田波建設 / 但南建設 / 中和コンストラクション / 東匠建設 / 東北ミサワホーム / ナイスリフォーム / ナニワ建設 / 鍋林建工 / 西峰工務店 / 日本インテリアサービス / ハウスプランニング / ヒノウエ設計工務 / プロタイムズ総合研究所 / 三浦章商店 / 諸橋工務店 / ユウワ / リフォーム建築事務所 / 林友 / 若月工務店



株式会社 空設計  
代表取締役  
平山郁夫様

「技術力のない事業者は淘汰される」という理事長の話に感銘を受けて、木耐協に加盟して20年が経ち、約1,500棟の耐震診断と千葉県トップクラスの補強実績を積み上げてきました。脱炭素社会に向け、耐震に加えて省エネについても技術力を高めていきます。

全国大会の開会に先立ち、元旦に発生した能登半島地震で被災された方々に心からの哀悼の意を捧げるため、来場者全員で黙とうを行いました。また、会場で災害義援金を募り、集まった皆様の善意を石川県にお届けしました。

今回の全国大会では、防災・空き家・リノベーションという耐震とも関連が深く、これからの住宅業界に欠かせない3つのテーマで講師をお招きしました。行政で防災・福祉の仕事に携わっていた鍵屋様には、住宅の耐震化が防災の第一歩であると力強いメッセージをいただきました。和田様には空き家問題の現状・課題と事業者の役割について、鎌田様にはリノベーション事業の意義について講演いただきました。

例年より早い開催でしたが、全国から多くの組合員様にご参加いただいた全国大会の様子を誌上レポートします。

文・伊藤健三

令和6年能登半島地震への黙とうで始まった全国大会





空き家活用株式会社 代表取締役 CEO **和田貴充様**

### 空き家問題から新たなビジネスを考える

2030年には空き家が2,000万戸にもなる見込みであり、空き家問題は地方だけではない日本全国の問題と指摘。「空き家問題は“面倒くさい”という人の意識の問題といえます。空き家で困っている人は、どこで、誰に相談していいのかわからないのです。我々事業者がその解決方法を伝えていく必要があります」と、私達が事業として取り組む意義について事例を交えて語っていただきました。

株式会社WAKUWAKU 代表取締役 CEO **鎌田友和様**

### リノベーションで叶える 百人百色の自分らしい暮らし

「お客様が住宅に求めるニーズは個別化・多様化しています。中古+リノベなら、お客様のニーズを叶えることができますが、簡単ではありません。物件選び、設計、資金計画、施工と業務は多岐にわたるので、業務効率の改善とテクノロジーの活用は欠かせません」と、鎌田様。リノベーションで住宅の価値を上げ、ひいては街の価値を高めていきたいと熱い想いを語っていただきました。



跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部  
コミュニティデザイン学科 教授 **鍵屋 一様**

### 地域防災と住宅耐震化の新戦略

「能登半島地震の被害をみても、住宅が倒壊しないことが重要。住宅の耐震化が防災の一丁目一番地。耐震化率と出火は比例しており、倒壊しなければ火災は防げるのです。では、これだけ自然災害が起きても、なぜ人は備えないのでしょうか。それは『自分は大丈夫』と思っているからです。自宅で大地震が起きた後のことを想像してもらっても、その時に自分が怪我をする、亡くなると考える人はいません。また、自治体の補助金の多くは自己負担がありますが、費用負担できない人を見捨てるような社会で良いのでしょうか。高知県幡多郡黒潮町では、自己負担なく耐震設計・補強できる体制を構築しています。志があれば耐震化は進められるのです」と、鍵屋様に耐震化の重要性をご講演いただきました。



## 講演会 使命感をもったお話に 心を打たれました

### 賀詞交歓会 なごやかに 親睦を深めました



▼会の締めくくりは  
(株)スイコー 代表取締役 澤口 司 様



▲乾杯のご発声をした  
（公財）住宅リフォーム  
支援センター 理事長  
杉藤 崇 様



▲挨拶をした  
（独）住宅金融  
支援機構 理事  
中島 康成 様



### 参加者の声 日本全国からの 参加者の皆様

能登半島地震が発生し診断依頼者の意識も上がり、今年は改めて耐震に向き合う事例が増えると考えています。  
高月工務店  
高月 義夫 様



4号特例の縮小や断熱性能への対応など大きな変革が求められる年になりそうです。本日の講演も参考にさせていただきます。  
ツヤマ  
津山 哲郎 様



とても素晴らしい全国大会に参加できて本当に感動し、明日からのやる気が湧いてきました。  
東洋堂ハウスSP  
松森 広志 様



空き家活用に非常に興味を持ちました。ビジネスとしてだけでなく、街づくりや価値を見出す事も大切だと感じました。賃貸物件への耐震化、生活弱者に対する取り組みも考えたい。  
札幌アポロ  
新家 智志 様



大変勉強になる講演内容と講演者の熱い思いが伝わり、とても充実した時間でした。改めて「耐震」という命を守る取り組みの重要性を多くの方に伝えていきたいと思いました。  
TOPPAN  
藤原 夕 様



鍵屋先生の講演を聴講し、耐震補強の必要性を再認識させていただきました。  
住宅リフォーム  
推進協議会  
城所 隆男 様



空き家の再活用・リノベーションのアイデアも参考になりました。地域防災と住宅耐震化の重要性もさらに理解が深まり、将来の住まいに対する新たな視野が広がりました。  
創にホーム  
小野里 雅司 様



初めて参加させて頂き、様々なヒントを頂き大変参考になりました。活動エリアで耐震の必要性を伝えていきたいと思っております。  
大功  
遠藤 喜与士 様



# 事務局長が行ってきました!

不定期連載  
No.09

これまであまりお伝えしていなかった木耐協事務局の活動裏話を時々お届けします

## ▶ 東京都品川区の組合員 太豊建設様の地域密着イベント 「ふれあいマーケット」に行ってきました! [2023年12月16日(土)]

徹底した地域密着戦略を展開されている組合員、太豊建設株式会社様のイベント「ふれあいマーケット」は毎年8月と12月に開催し、今回で27回目。毎月半径1kmに配布している「かわら版」で案内する他、ポスターも事務所や商店会等の各所に掲示。自宅の扉に貼ってくださる方もいらっしゃいます。当日は約200組のお客様が来場され大変盛り上がり、さらに品川区長・副区長や地元の国会議員も来場されました。来場者にお餅をふるまい、野菜や海産物販売での収益金は全て品川区社会福祉協議会へ寄付されています。

当日は朝早くから、社員だけではなく近隣や町会の方々も手伝ってくださっていて、企業イベントの枠を超えてもはや「地域のイベント」という印象でした。地域密着の神髄を見せていただきました。



▲事務所前の通りや近隣住宅の駐車場も借りて開催



▲新鮮野菜販売も大盛況



▶ バルーンアートも人気



▲子供も餅つきを体験



▲地域の皆さんが熱心にサポート



▲熊本から稲葉工務店の稲葉社長(左)が見学に来場

4年ぶりの開催で皆さんが来てくださる心配でしたが、地域の方々のご協力で盛会に終えることができました。やはり地域の皆様と直接お話ができるのは嬉しいですね。これからも様々な形で繋がりを強めていきたいと思っております。

太豊建設 岡井徹博社長(右)



▶事務所や近隣に貼付したポスター



木耐協事務局長  
関 励介

2002年から木耐協入り。組合運営や国・団体対応を担当。最近は尿酸値が気になる

今後も様々な動きをお知らせしますので、ご期待?ください!

短期集中連載

# 建設業の 2024年問題 働き方はどう変わる?



いよいよ2024年4月から、建設業でも働き方改革にもなう時間外労働(残業)の規制が始まります。法改正の概要と適用にあたって企業が準備すべきことを短期集中で解説します。

4

## 労働基準法改正によって何が変わる?

では、労働基準法改正によって具体的に何が変わるのでしょうか。労働時間に関する新たなルールのポイントを押さえておきましょう。

### ▶ 労働時間の上限が年720時間・単月100時間未満に

改正労働基準法では、労働時間の上限を「原則」と「特別条項」の二段階で定めています。

#### 時間外労働上限の原則とは?

- 1日8時間
- 週40時間
- 時間外労働(残業)は月45時間
- 年360時間

#### 【特別条項】

##### 特別な事情がある場合の時間外労働上限

- 年720時間
- 複数月(2~6カ月)平均80時間
- 単月100時間未満

### ▶ 36協定を締結した場合も例外にならない

これまで、法定の労働時間上限を超えて従業員を勤務させる場合には36協定を結ぶのが一般的でした。36協定の締結は使用者と従業員との間で残業に関する合意が形成されていることを意味するため、制限なく残業させたとしても労働基準法違反とは見なされなかったのです。

改正労働基準法では、36協定を締結した場合も特別条項の例外として扱われません。特別条項の上限時間(年720時間・月100時間)を超えて残業ができると定めたととしても、その協定は無効となるため注意してください。

### ▶ 災害時の復旧・復興の事業については例外

災害時の復旧・復興の事業については急を要することから、特別条項の例外として扱われます。ただし、適用外となるのは「2~6カ月で平均80時間以内」「単月100時間未満」の上限時

間のみです。「年720時間」「月45時間×年6回まで」を超えて勤務すると、災害時の復旧・復興事業の場合も労働基準法違反となる点に注意しましょう。

▶ 次回は、「改正労働基準法に違反するとどうなる?」です。



プロフィール

dandori work

株式会社ダンドリワーク  
ダンドリワーク事業部フィールドセールsteam  
マネージャー  
北原 裕太

滋賀県草津市南草津二丁目1番地7  
TEL : 077-598-6997  
Mail : contact@dandori-work.com

建築現場の施工管理アプリ  
ダンドリワーク



役立つ各種  
セミナー開催中!





▲座学で利用した川口市ふれあいプラザさくら  
(最寄り駅：埼玉高速鉄道線 新井宿駅)

## 木耐協 あ・れ・こ・れ 寄稿

# 「性能向上リノベの会」会員向け 現地研修会を開催

「2023年12月14日(木)」

YKK AP株式会社が運営する「性能向上リノベの会」が行う現地研修会について、木耐協が運営サポートを行いました。前半の研修を木耐協が、後半の研修を「構造塾」の佐藤実氏が担当する1日がかりの研修会でした。14名の方が参加された当日の様子をレポートします。

### 後半 診断ソフト入力講習 (担当：「構造塾」)

午後は佐藤氏による診断ソフトの入力講習。前半で調査を行った研修所の情報を診断ソフトに入力していきます。調査者の判断が求められる場合の判断基準に関する解説や、リノベーション時の耐震診断のあり方といった講義もあり、受講生も熱心に聴講していました。



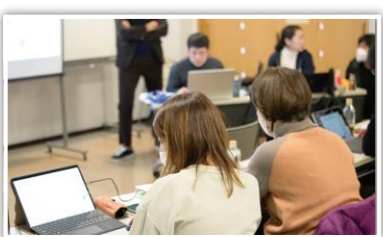
▲研修所の2階は天井を解体し、金物や筋かいが見やすくなっています



▼床下調査。床下特有のこもった臭いと狭さを体感



▲耐震診断の現地調査のポイントを講義



▲前半の研修で調査した内容を診断ソフトに入力し、補強設計まで行います



▲外観からも劣化事象を確認します



▲全体の研修を通じて、受講者から実務的な質問を都度いただきました



▼YKK AP株式会社 西宮貴央氏



▼前半の研修を担当した木耐協技術担当 駒井



▲事務局長の関もご挨拶しました



▶「構造塾」塾長 佐藤実氏

## 今年も現地研修会を開催予定です！

今回の研修会は、受講者から講師への質問が多く、日頃の耐震業務における悩みを解決しようという意欲が感じられ、非常に活気溢れる1日でした。木耐協でも組合員様向けの現地研修会を2024年度に開催予定です。現地ならではの耐震診断の実務が身につく研修会ですので、ぜひご参加ください。

# シ道

## 資格は武器になる

視野や知識を広げ、お客様への提案に役立つ資格をご紹介します。

### 第7回 赤外線建物診断技能師

**ポイント**

建物の不具合を  
赤外線サーモグラフィで  
明らかにする専門家

▶ 受験資格：特になし

▶ 資格取得費用：43,800円  
[30,800円(税込)、受験料13,000円(非課税)]

▶ 試験月：年10回程度  
全国主要都市で開催  
※2年毎更新

▶ 管理団体：一般社団法人 街と暮らし環境再生機構

<http://www.ters.or.jp/>

▲雨漏り診断における赤外線画像の例

▲認定登録のサンプル

## News & Topics

### 環境省『先進的窓リノベ2024事業』補助制度を活用してリフォーム提案をしましょう！

2023年から始まった国土交通省・経済産業省・環境省の3省連携による「住宅省エネキャンペーン」は、2024年も継続実施されています。キャンペーンの一つである『先進的窓リノベ2024事業』は、既存住宅の内窓の設置・外窓や窓ガラスを断熱性の高いものへの交換・高断熱ドアの交換の場合、リフォーム工事内容に応じて補助額の合計金額を、1戸当たり200万円を上限に還元するものです。予算枠が埋まり次第、申請受付は終了します。ホームページでスケジュール・条件を確認しながら、うまく活用しましょう。

【先進的窓リノベ2024事業】ホームページ  
<https://window-renovation2024.env.go.jp/>



「颯風の王」の作者による  
圧倒的描写の熊文学

『ともぐい』  
著者／河崎秋子  
発行／新潮社  
価格／1,750円(税別)

書評が難しい本ですが、兎に角「凄い本」を読みました。どう凄いのかは読んでのお楽しみです。物語は冒頭から一気に引き込まれ、読書中は北海道の零下30度の極寒の山中から、心と春、短い夏を超えて、生きとし生けるもの全てが厳しい冬に備えるざわめきが聴こえて来るようです。次回の直木賞はこれで決まりでしょう(現在12月下旬)。

Book  
『ともぐい』

今号の理事長オススメはこの一冊!

日の山中で、熊に大怪我を負わされ動けなくなっている男を見つめる。放っておく訳にもいかず、自分の寝ぐらに連れて帰り手当てをするのだが...

それぞれの描写が詳細で凄まじく、圧巻です。これは女性の読者にはキツイだろうなあと感じつつ読み進めますが、作者が1979年生まれ女性の女性である事に気が付き、改めて驚かされます。作者が過去に「大藪春彦賞」を受賞しているのも頷けます。

そして終盤にかけて不穏な空気が漂い、そのタイトルも相まって、どう物語が終わるのか興味がないため、まるで上質な推理小説を読んでいる気分にもなります。



昨今、熊による被害が頻発していますが、熊は生きるために必死なだけであって、そこには人間のような欲望も虚栄心も存在しません。現代に生きる私たち人間は、同じ動物として一番大切な何かを忘れてしまっているような気にさせてくれる「凄一本」でした。

事務局通信

●編集後記●

木耐協全国大会がお蔭様で無事終了しました。能登半島地震後の開催となり、講演者や参加者から激励をいただきました。被災のニュースを見るたび悲しくなりますが、住宅の耐震化などをより広げていけるよう事務局スタッフとして頑張りたいと思います。(渥美)

2024年耐震技術認定者講習会について

2024年は、以下の通りの日程で開催します。各日程が近くなりましたら木耐協ホームページ・メールでご案内します。

期	受講期間	申込開始日	申込締切日	更新対象(有効期限が以下の期間)	
eラーニング	第1期	2月8日(木)～3月14日(木)	2月6日(火)	3月4日(月)	2024年3月31日～2025年2月28日
	第2期	5月9日(木)～6月13日(木)	5月8日(水)	6月3日(月)	2024年6月30日～2025年5月31日
	第3期	8月8日(木)～9月12日(木)	8月6日(火)	9月2日(月)	2024年9月30日～2025年8月31日
	第4期	11月7日(木)～12月12日(木)	11月6日(水)	12月2日(月)	2024年12月31日～2025年11月30日

開催日	申込開始日	申込締切日	更新対象(有効期限が以下の期間)
東京会場	7月5日(金)	5月8日(水)	6月17日(月)
大阪会場	7月12日(金)	5月8日(水)	6月24日(月)

令和6年能登半島地震の災害義援金 1月11日全国大会での募金状況報告

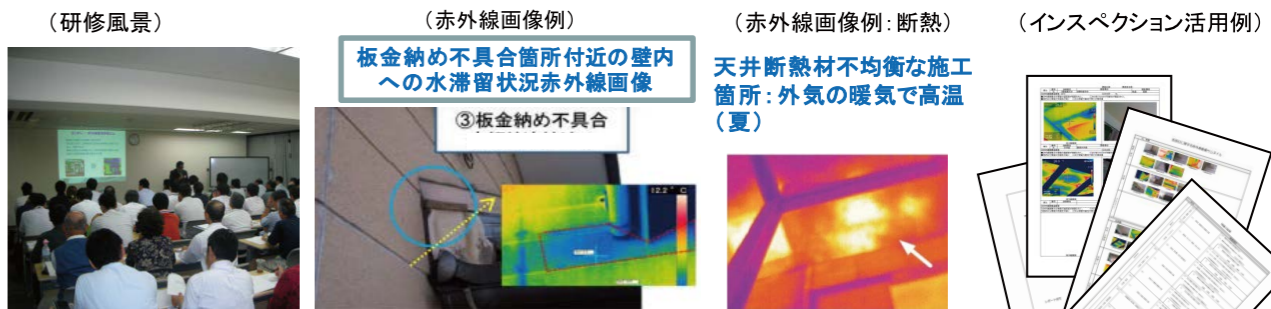
第26回木耐協 全国大会では、1月1日(月)に発生した令和6年能登半島地震の災害義援金の募金箱を設置しました。集まった義援金87,731円は事務局から石川県にお届けしました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。

発行 ● 国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
 発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子  
 所 在 ● 東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

木耐協組合員様向け特別割引  
『赤外線建物診断技能師』  
研修・資格試験のご案内

赤外線建物診断は「雨漏り原因・侵入ルートの特定」、「外壁浮き・剥離箇所の特定」、「断熱欠損箇所・気密状態の可視化」等に活用されています。目視では確認できない劣化状況を可視化することにより、お客様に分かり易く説明することができる診断技術です。この技術を正しく身に付けていただく『赤外線建物診断技能師研修』と『資格認定試験』をご案内させていただきます。一般価格 30,800 円(税込)のところ木耐協組合員様向け特別価格 28,050 円(税込)にてご受講いただけます。



赤外線建物診断技能師研修・認定試験:カリキュラムと費用

赤外線建物診断実務知識を学ぶ座学中心の研修と実務知識レベルを認定する資格試験です。

赤外線建物診断技能師研修・試験概要			項目
種類	研修	試験	赤外線建物診断とは、
会場・日程	東京会場: 3月5日(火)	東京会場: 3月22日(金)	赤外線サーモグラフィを使用した赤外線診断手法
	大阪会場: 3月13日(水)	大阪会場: 3月29日(金)	赤外線サーモグラフィを使用した赤外線建物診断実務
	札幌会場: 4月17日(水)	札幌会場: 5月10日(金)	赤外線診断の実務事例: 雨漏り診断、浮き・剥離診断
	仙台会場: 5月8日(水)	仙台会場: 5月21日(火)	赤外線サーモグラフィ操作
	福岡会場: 5月15日(水)	福岡会場: 5月30日(木)	画像解析・診断手法・事例
	沖縄会場: 5月22日(水)	沖縄会場: 6月7日(金)	赤外線診断の進め方と注意点
	名古屋会場: 6月4日(火)	名古屋会場: 6月20日(木)	試験対策
	東京会場: 6月11日(火)	東京会場: 6月26日(水)	
	広島会場: 6月25日(火)	広島会場: 7月11日(木)	
	金沢会場: 7月2日(火)	金沢会場: 7月17日(水)	
大阪会場: 7月10日(水)	大阪会場: 7月25日(木)		
研修時間	9:30～16:30	9:30～11:30	
受講料・受験料	特別価格: 28,050円(税込)	13,000円(非課税)	
申込み締切	研修日1週間前まで	試験日1週間前まで	
申込方法	TERSのホームページからお申し込みください	財団法人職業技能振興会ホームページ http://www.fos-jpn.org/	

※WEBでお申込みの際に、紹介者欄に木耐協組合員とご記載いただくと特別価格にて受講できます。

※研修受講ご希望の方は、弊社WEBよりお申込み下さい。

『赤外線建物診断技能師研修スケジュール』でWEB検索するか、右記URLからお申し込みください。http://www.TERS.or.jp/e13.html



〇■お問合先■〇 一般社団法人 TERS 街と暮らし環境再生機構  
 担当: 青木、中嶋 〒210-0852 川崎市川崎区鋼管通4丁目5番3号  
 Phone: 044-201-7411 E-mail: info@TERS.or.jp http://www.TERS.or.jp

# 組合員さん

# こんにちは!

事務局員がおじゃまします



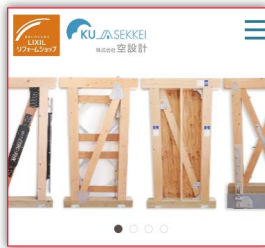
▲国土交通省の方々へ耐震補強について説明

▶フジテレビ取材に対応



▲ご自身でコンテンツを作成・更新されているホームページ

▼YouTubeでも自社の強みをPR



▶2021年の住生活月間にて国土交通大臣表彰を受賞



## 株式会社 空設計様

千葉県船橋市

空設計様は2003年に木耐協に加盟され、研修会・セミナーは欠かさず参加されています。現在は木耐協理事をお務めいただき、2021年にはこれまでの実績から国土交通大臣表彰を受賞されました。千葉県での耐震診断・補強の補助金利用実績がトップクラスの平山社長に耐震事業の取組状況を伺いました。

### 大工さんが全員 耐震技術認定者

空設計の大工さんは全員木耐協の耐震技術認定者の有資格者です。主に3つのメリットを感じ取られています。まず、お客様から構造や耐震に関する質問があっても、大工さんが即答できるので、「安心して工事を任せられます」と信頼につながっています。2つ目は、施工中に補強設計書と相違があれば、すぐに相談が入って、修正可能なこと。認定者だからこそわかる異常もすぐに連絡が入るそうです。最後に、資格と補強実績を大工さんの評

価と連動させることで、耐震を学ぶ意欲を高めています。

### 自治体の相談員活動から 診断の依頼が

平山社長は自治体で耐震に関する補助金相談会の相談員を担当されています。相談員という立場上、社名や連絡先を伝えることはできませんが、説明を受けた一般の方が自治体の登録名簿をみて、後日連絡して下さることが多いそうです。それだけ、平山社長の説明や人柄を信頼して頼ってくる人が多いのでしょう。

### 自らの想いを ホームページ等で発信

2023年の夏に、ホームページをご自身の言葉でリニューアルされたそうです。「これまで製作者に文章も含めて全てお願いしてきました。しかし、それは自分の想いが伝わらないと感じていました。一念発起して自分で書いた文章でリニューアルし

たところ、ホームページからの相談が増えました。」と平山社長。現状に甘んじることなく、高みを目指す平山社長の、今後益々のご発展を組合としてもサポートして参ります。

### 平山社長からの一言

2025年には建築基準法の改定により、木造住宅の4号特例、構造規定、省エネ基準が変わります。学ばないと技術的に差別化される時代となります。さらに学び続け、生き残れるよう頑張ります。



▶代表取締役 平山郁夫様

木耐協のリーディングカンパニーとして常に研鑽・努力を欠かさない平山社長。私達事務局も学ぶことばかりです。ご加盟21年目からもずっとNo.1でいきましょう。よろしくお祈り致します。

(事務局/家富)



木耐協マンスリーレポート  
2024年2月 Vol.302

発行：国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合  
発行人：小野秀男 編集：岡田介、伊藤健三、温美寿子

東京都千代田区麹町2-12-1 グランアリス麹町7F  
Tel: 03-6261-2040 Fax: 03-6261-2041